理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田市成田950
成田小学校内

顧問　飯田和幸　管理課長
理事　岡崎賢一　本埜中学校
〃　平山信　交進小学校
〃　柏熊寿　遠山小学校
〃　宍沢鉦治　宗像小学校
〃　手塚重夫　本埜中学校
〃　笠井貞夫　船穂小学校
部長　板橋義夫　大森小学校
副部長　牛島竹利　印西中学校
〃　横崎正雄　四街道小学校

各部会の部長も理事になります。

研究部事務局は昨年にひき続き成田小学校におかれます。幹事は飛田吉男　弥富小学校
武藤喜正　成田小学校
が部長より任命されました。

部会理研だより

部会役員および行事

印教研理科研究部の総会につづいて、各部会でも、それぞれ部会理事主任会がもたれ、四十二年度の役員及び行事計画が決定していますが、報告された部会関係のようすをお知らせします。

一部会

役員

部長　川勝丸重　佐倉北一小
副部長　渡貫博孝　佐倉中学校
〃　石井望　中央小学校

行事

○佐倉中学校を中心とした授業研究

二部会

役員

部長　中村鉄弘　成田中学校
副部長　折目康雄　富里中学校
〃　武藤喜正　成田小学校

行事

○地区実技研修会（六会場）
○理科施設相互視察（三年計画の二年目　六月二十三日実施）
○理科学習指導研修会
八生小学校会場　十一月
○岩石採集会
長野県　八日上旬（四日間）

三部会

役員

部長　近藤静観　白井北二小
副部長　岸田イク　大森小学校
〃　山本巌　印西中学校

行事

○授業研究　七月四日
○岩石採集会七月　筑波
○実験講習会十月

四部会

来着

三里塚植物採集会開かれる

本年度の活動計画にきまりました三里塚植物採集会は、六月十七日に行われました。講師に、県理科センターの大野素徳先生をおむかえし、土曜の午後にもかかわらず、参加者も小中学校生徒を含めて六十三名という盛会でした。

道ばたの草にも興味を
―植物採集会に参加して―

成田小　三橋　とり

緑につつまれた三里塚。

国鉄バス三里塚駅裏から足を牧場へ向ける。ときどき、木々のこずえごしに照りつける初夏のひざしは強かった。

トチの大木の並木道・ニセアカシヤ・センダンの樹木がこい緑をたたえる。形・カシ・カラマツなどの大木もしげっている。

植物採集一年生の私は、講師の大野先生から離れまいと後を追いながら、ふと、目を足もとに移すと、アラゲハンゴン草をたくさん見つけた。「これも帰化植物の一つで、夏期には、みごとに開花するが、よく見ると、多種多様なものがある。」というお話しを興味深くうかがった。

また道路ぞいには、ニワゼキショウ・レンリソウ・キバナノマツバニンジンなどのかれんな花が、ひっそりと咲いているのが印象的だった。

しだいに暑みを増し、大木にからみついているツタウルシを見ることができた。「ここでモミジがりに行った子どもたちが、ツタウルシにかぶれて困った。」という地元の先生から貴重な体験談などを聞き、なおすすんでいった。

さくをくぐり広びろとした牧場に出た。このあたりで、踏まれても強くのびようとするヘラオオバコを採集しているうちに、にわかに雨にあい、馬小屋の軒下に身をよせたのもつかの間、馬のお通りとあってすぐに出されてしまった。

しばらく歩き、木かげで休憩。採集と標本の作り方を、私のような一年生にもわかるご指導を受けた。

時間のたつのも忘れ、楽しく有意義な土曜日の午後であった。

今まで、無意識に見ていた道ばたの草が、なぜか急に親しみ深く感じられる。これは、アレチノギク・あれはヒメジョオン・キクの仲間、こんなふうに見ると、歩くのが楽しくさえなってくる。

新年度に際して

研究部長　板橋　義夫

すでに新年度を迎えて行事も進んでいるわけですが、本年度も従来同様に御支援の程何卒お願い申し上げます。又、小生をはじめ役員の先生方も御期待に沿うよう努力いたして参りたいと存じますので、この点もより一層のご叱正とご協力を賜わりたいと存じます。

会報の方も過日編集の方針を話しあいまして、幾分でも新しい方向にと考えておりますので、広くご愛読いただけるようお気づきの点やご投稿をお待ちいたしております。

次に又、工夫展の時期に入りますが、昨年県展予備審査に出まして、次のような点に考慮していただけたらと思います。

1. 小学校は同じような作品が出る傾向があるので、どこか子供らしい工夫のあるものが選に入るようになります。
2. 特色をよく説明すると共に努力の記録などあると一層よい。
3. 小中共に、ちょっと動かしたりするとこわれてしまい、折角のアイデアも生きてこないようなものもよくあります。
4. 子供の作品の指導は当然あってよいわけですから、一緒に考えてみて、助言してよりよい物に改良することなど、おおいに結構だと思います。

本年も今から心がけて広い意味で科学心をのばす一助としていただきたいと存じます。

四十二年度役員きまる

五月十六日に開かれました研究部総会で、本年度の活動計画及び役員が次のようにきまりました。なお空席となっていました副部長には、理事として現在まで活躍されている横崎正雄先生が選出されました。

行事

○現場研修（三里塚植物採集）
○現場研修（工場見学）
(イ)四街道・ガラス工場
(ロ)印西・気象関係
○教育研究　研究員を中心に
○児童生徒科学論文展　九月
○児童生徒理科作品展　十月
○地方理科センターへの協力

本年も昨年にひきつづき、四街道小・成田中に設置されています。

○印教連指定・理科教育研究学校への協力。

研究校は昨年までの朝陽小が終了して、本年度、四街道小学校が指定されました。

理事・役員（敬称略）

顧問　牧野正　千教組委員長

学校園

穴沢鉦治

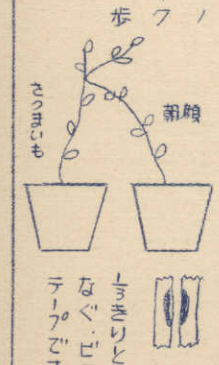
園芸を担当し志す者の多忙な季節である。限られた紙面で楽しい花園に努力する先生方への一助とすることの欄も、いそいで記述することにする。

播く。オシロイバナ・コスモス・キバナコスモス・マリゴールド

晩秋に花を楽しむために今から苗つくりもおもしろい。

さし芽。菊・ゼラニウム・シャボテン・多肉植物　パーライト・バーミキュライトを使いましょう。

ゼラ・シャボ、多肉は切口を白くなるまでかわかしてから、特に多肉は祝をさせてころがしておく。

さし木。適期である。しかし不適期のものもある。御研究をいただきたい。さし木の学習があるが児童ひとりで10本ぐらいは欲しいもの。二三日おきに発根状況を引きぬいて調べると発根状況がよくわかります。なんでもさせば活着すると思わせるのは危険な知識を与えます。活着しないもの、するもの、教師の意識のもとに学習指導を展開したいものです。

つぐ。つぎ木をしましょう。朝顔が開花するのが夏休みに入ってしまって困りませんか。さつま芋の苗をハチ植えにして呼びつぎをしましょう。今からやれば七月中旬以前には盛大に開花するはずです。